



今年もよろしくお願いします。穏やかな天気のお正月でしたね。年末年始、HOMEで充電できましたか？今年どんな一年に？ご家族それぞれに思いを巡らせたことと思います。これまでの過ごし方を振り返って、上手くいっているなど思うことは、多少、環境が変わってもそのままに。もう少し“こうしたいな”と思うことがあったら、まずはできそうなことからですね。

我が子の一週間の生活を表にしてみると、「ここをこうしたい」「ここにこれを入れられるかも」と思いが膨らんでくることもあると思います。でも、日々を振り返ってみても、なかなかそうはいきません。子どもも大人も波があります。行った先でもトントンと物事が進むわけではありません。スケジュールにも心にも“くるぶし”ひとつくらい余裕を持ちたいですね。BestよりもBetterくらいがよいのかもしれませんが。少し先を見据え、変えていくことと変えないでいくことのバランスを一緒に考えていきましょう。

—1月・2月の予定—

- 1月 6日(月) 支援開始
- 1月20日(月) ST(児童)
- 1月23日(木) 地域連携日(児童・放デイ共にお休みです)
- 2月 6日(木) 地域連携日(児童・放デイ共にお休みです)
- 2月18日(火) ST(児童)



＝お知らせ＝



《卒園式&お別れ会について》

*児童の卒園式は3月22日(日)に。放デイのお別れ会は3月の利用日に予定しています。詳細は決まり次第、別途お知らせしますので、よろしくお願いします。

《来年度の児童・放デイの利用について》【重要！】

*先月、児童、放デイ共に、来年度の利用の希望を伺いました。それを踏まえ1月から2月にかけて、個々に利用日の調整をさせていただきます。

児童は、幼稚園・保育所や他事業所との関係、送迎の関係も踏まえてご相談させていただきます。放デイは、授業終了時間、送迎の関係、これまでの利用状況等を踏まえてご相談させていただきます。よろしくお願いします。



《感染予防について》

*冬休み明け、インフルエンザ等の感染が広がる時期です。これまで同様、センター内の衛生管理には努めていきますが、子どもの健康観察等、皆様のご協力をよろしくお願いします。まずは、大人のこまめな手洗い・うがいの励行が大切ですね。



とけいクラスの12月あれこれ

12月のとけいクラスは、みんなで「ゲーム」をしました。黒ひげ、かるた、神経衰弱、ジェンガ、椅子取りゲーム！“覚える”“考える”“思い出す”“力を加減する”“順番を守る”などなど、ただ見る聞くだけじゃない試行錯誤しながら簡単なルールのある遊びを経験しました。

巧技台運動では、鉄棒やポックリ、マット運動など、自分の身体の動きや重さを今まで以上に意識する課題を取り入れました。

みんな4月から一つひとつ積み上げてきたものが、しっかり自信となって、新しいことにも果敢にチャレンジする姿が、とても頼もしいです！

生活面でも、年長さんはハンカチを使うことや、ひとりで身支度をする練習を始めました。そんなお兄さんお姉さん達をよく見ている年少・年中さん…。

就学、進級とそれぞれの春に向けて動き出しています。



めがねクラスの12月あれこれ

12月のめがねクラスは「ふれあい ゆらしっこ」の活動をたくさん取り入れました。怖いと言っていた子も小さく揺らすことから始めて、回を重ねると「できた！」の笑顔。名前を呼ばれたくて、自然に前のめりになって待っています。「赤だよ」「青だよ」の声かけだけで、その色のマットに行けるようになった子、声かけ+指差してマットを選べるようになった子、みんな“よく見て”“よく聞ける”ようになりました。子どもの手足を大人が二人で持って揺らすときも、「手、ちょうだい」「次、足ね」の声かけに応じたり、大人が差し出した手に、呼吸を合わせて手や足を出してきてくれたり。気持ちよい触れ合いができるようになっています。

お友達がやっている間も、一緒に歌を唄ったり、次の順番かなと期待したりと、待つ事も上手になっています。

お決まりの活動の中に、人と楽しく過ごすために必要な、小さくて大きな育ちが見え、とてもうれしく思います。新年も、子ども達とお母さんお父さんの“一緒の笑顔”が楽しみです。



放デイのひとり言



12月はクッキングは、お楽しみのデザートづくり♪

大きめのプリン（プリンが苦手な子には柔らかい食パン）にホイップクリームやフルーツ等をトッピング。楽しく盛り付けて、ホイップクリームの優しい甘さに和やかな笑顔😊
みんな一緒にワイワイ食べるのも、おいしさ倍増ですね。

早いもので2学期も終わり、また新しい年のスタートですね。行事の多かった2学期を乗り越えて、少しホッとできたお正月休みだったのではないのでしょうか？

この冬はインフルエンザの流行も早まっていますので、手洗い・うがいの励行で、

体調管理に気を付けて、また新学期も元気にいきましょう！

保育所等訪問支援 12月のある日ある時



春まであと3ヶ月ありますが、12月は何となくひとつの節目ですね。クリスマスで忙しい園もあれば、その前に行事を終えて、少しのんびりしている園もあり、子ども達はそれぞれの場所で生き生きしていました。その子の得意なところが苦手なところを引っ張り上げていっている姿があちこちで見られました。付き合いも長くなってきたその輪の中で、遊ぶ楽しさ、集う楽しさ、繰り返し挑戦する気持ちよさを、少し余裕を持って満喫していました。安心できる見守りと、程よいサポートがあってこそですね。

1月は、クリスマスとお正月で満タンにしてきた一人一人の気持ちを

見に行きたいと思います。



☆お 礼☆

先月は、オモチャと本をたくさんいただきました。先輩が楽しんでいたのでですから後輩だっておもしろいはずですね。ヒットするオモチャは永遠です。本も同じです。次は後輩が熟読させていただきます。本当にありがとうございます。

あんずを利用しているメンバーの妹さんが書いた作文です。



大切なお姉ちゃん

わたしのお姉ちゃんは、生まれつきみんなとはちがう大きな病気を持っています。人とは話せないし、一人でお風呂に入れません。だから、わたしや妹は、お姉ちゃんの面どうを見ないといけないのです。

まず、障がいを持つお姉ちゃんがいて困ったことは、一人でゆっくりお風呂に入りたくても、お姉ちゃんの手伝いをするので、ゆっくり入れないことです。

二つ目は、行きたいところに自由に行けないことです。お姉ちゃんは大きなバギーに乗っています。お母さんがいない時は、私が面どうを見るので行きたいところに自由に行けません。

三つ目は、大切にしていた本やお手紙をやぶかれてしまうことです。

でも、お姉ちゃんがいて良いこともあります。まず、人の気持ちが分かるようになりました。お姉ちゃんは、言葉を話すことはできないけれど、目や顔を見ているとどうしてほしいのか分かります。

次に、障がいを持つお姉ちゃんがいて、毎日が楽しいことです。お姉ちゃんは、いつもボールで遊んでくれます。お姉ちゃんの笑顔は、みんなを幸せにしてくれます。

兄弟や姉妹に障がい者がいても、何も悲しいことはありません。ただし、面どうを見てこまったことはたくさんあります。でも、うれしいこともたくさんあります。

わたしは、障がいのある人も、ない人も平等だということが、お姉ちゃんがいて分かりました。

みんなには、障がいを持っている人にもやさしくせっしてもらいたいです。相手の気持ちを考えて生活できるようになるとと思います。

ご本人とご家族にご了解を得て載せさせていただきました。

